

秋成はち
のちのち

開館七十九周年記念展

秋成

―上田秋成没後二〇〇年によせて―



きんぎょ
あひる
はるかな

天理図書館

開館 79 周年記念展

秋成

— 上田秋成没後 200 年によせて —

天理図書館開館 79 周年を記念して「秋成 - 上田秋成没後 200 年によせて -」を開催致します。

不遇の子に生まれた秋成が、養家父母の慈愛を受け、天下孤高の文人として死を迎えるまでに筆を染めた作品の数々をご覧頂きたいと思ひます。

幼くして商家の養子となった秋成は、大阪町人としての気概を秘めた、放蕩無頼の浮浪子的生活を送りながらも、俳諧への興味を契機に、文人への道を歩み始めます。富士谷成章らを友とし、加藤宇万伎や都賀庭鐘に教を請ひ、蕪村・几董などの俳人や木村兼葭堂、大田南畝等と交遊を深めてゆきました。代表作となった『雨月物語』や『春雨物語』の執筆のみならず、句を投じ、国学を学び、医術を修め、国史を説き、歌を詠み、煎茶を嗜むなど、その興味の尽きる所はありません。狷介峭直とも評され、自らを曲げぬ合理主義に根差した生き方は、その著書からも窺い知ることが出来ます。

折しも、秋成没後 200 年に当たる本年、館蔵書の中から自筆資料を中心に逸品を精選・展示致しました。稀代の鬼才上田秋成の世界をご堪能頂ければ幸いです。

出品リスト

自伝 自筆 文化 5 年写

蛙円研

除元吟 白羽編 宝暦 3 年刊

俳諧十六日 茶雷編 宝暦 5 年刊

はなしあいて 几圭編 宝暦 8 年刊

雪達摩 舞雪編 宝暦 12 年刊

続明烏 几董編 安永 5 年刊

俳諧発句むかし口 上田秋成編 安永 6 年刊

から檜葉 几董編 天明 4 年刊

雁風呂集 呂蛤編 寛政 6 年刊

也哉鈔 上田秋成著 天明 7 年刊

俳調義論 上田秋成著 文化 8 年写

諸道聴耳世間猿 上田秋成著 明和 3 年刊

世間妾形気 上田秋成著 明和 4 年刊

雨月物語 上田秋成著 安永 5 年刊

書初機嫌海 上田秋成著 天明 7 年刊

癩癖談 上田秋成著 文政 5 年刊

ますらを物語 自筆 文化 4 年写

春雨物語 自筆 富岡本

春雨物語残卷 自筆

春雨物語残缺 自筆

つゝら文 自筆

藤簾冊子 上田秋成著 文化 4 年刊

付. 題簽版本

海道狂歌合 自筆 文化 2 年写

付. 海道狂歌合 文化 8 年刊

鶉居倭哥集 自筆

秋の雲 稿 自筆 文化 4 年写

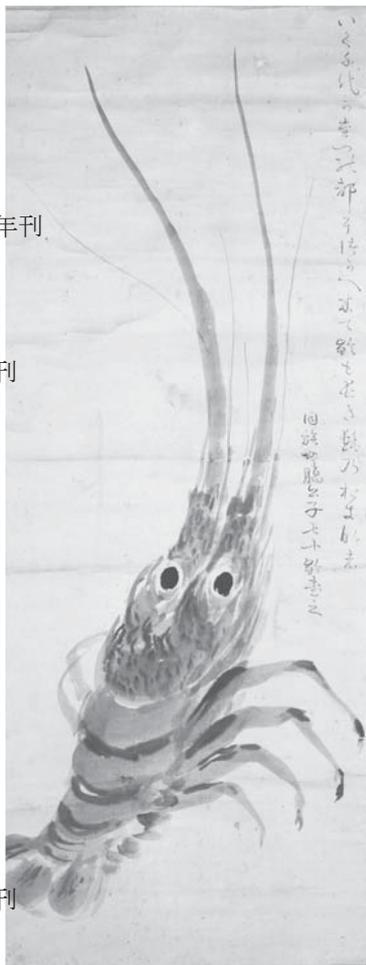
秋の雲 自筆 文化 4 年写

安々言 自筆 寛政 4 年序

霊語通 仮字篇 上田秋成著 寛政 9 年刊

冠辞続貂 上田秋成著 享和元年刊

遠駝延五登 自筆



金砂 付金砂剩言 自筆 享和 4 年写

神代がたり残稿 自筆 文化 6 年写

雨夜物語だみこと葉 加藤宇万伎著 安永 6 年刊

あがた居の哥集 賀茂真淵著・しつ屋の哥集

加藤宇万伎著 寛政 3 年刊

伊勢物語古意 付豫之也安志夜 賀茂真淵著

寛政 5 年刊

清少納言家集中 上田秋成筆 文化元年写

万葉集見安補正 池永泰良著 文化 6 年刊

清風瑣言 上田秋成著 寛政 6 年刊

茶痕醉言 自筆

[茶匙朝雀詩歌] 自筆

茶侶十四個 自筆

尾張人大館高門へ答ふ 自筆 文化 2 年写

煎茶之記 自筆 文化 4 年写

浅間煙 自筆

いははし 自筆

仰観俯察室記 自筆

御嶽さうじ 自筆 寛政 11 年写

風鈴詞 自筆 享和 3 年写

胆大小心録 自筆

胆大小心録 上田秋成著 鹿田本

露分衣 瑚璉尼著 上田秋成筆 寛政 10 年写

夏の露 瑚璉尼著 上田秋成筆 寛政 10 年写

無腸居士肖像 土佐秀信画、慈雲賛 天明 6 年写

[吉野山和歌懐紙] 自筆 享和元年写

吉野山歌文 自筆

茶筌自画賛 自筆

海老画賛 自筆 享和 3 年写

吉野行 自筆 文化 3 年写

たが齡画賛 細合半斎画、上田秋成賛

秋の夜おもひを述る歌 自筆 文化 6 年写

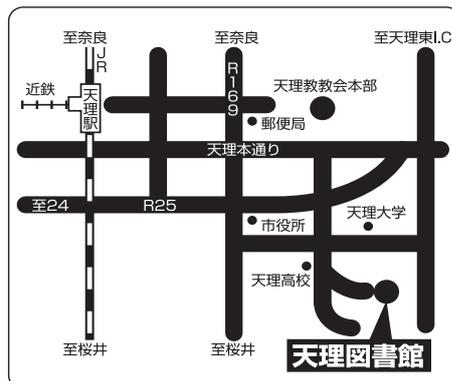
上田無腸自画肖影 自筆 文化 5 年写

2009 年 10/19(月)~11/15(日)

9 時 00 分 ~ 15 時 30 分 会期中無休・入場無料

天理図書館 〒632-8577 天理市杣之内町 1050 TEL:0743-63-9200

http://www.tel.gr.jp JR: 近鉄天理駅より徒歩 25 分 / 名阪国道天理東 I.C. 南へ約 10 分



【筑前琵琶演奏会「秋成世界を語る」】

琵琶奏者 片山旭星 師

10 月 25 日 (日) 午後 3 時より 於: 天理図書館 2F 講堂